

剣岳 八ツ峰

8月11~13日 L 谷内、宮坂

台風のため計画を縮小せざるを得なかったが久しぶりの剣にまみえることができ八ツ峰は充分手ごたえのあるルートで充実した三日間を味わうことができました。

8/11 時々小雨

AM5 時茅野発-6:12 扇沢駐車場。台風のおかげか無料駐車場そこそこ空きあり助かる-7:30 始発トローリー乗車-7:47 小雨のなか傘をさしながら日電歩道へ-9:07 内蔵助谷分岐、雨やむ。圧倒的な姿の丸山東壁を横目に見ながら所々荒れた道を進む。台風による増水の影響を心配してたがそれ程でなし。10:53 内蔵助平-12:20 ハシゴ谷乗越。剣沢の雪渓を渡り13:40 真砂沢テンバ着。一張りのみとガラ空き状態。受付で聞くと台風で100人ぐらいのキャンセルだったと。設営後、再びの小雨ではあったが明日早朝の行動に備えて長次郎出合付近までの登山道の偵察を行う。雪渓と左岸沿いの夏道をつなぎ合わせていく感じであった。

8/12 くもり、一時小雨

AM3:52 発-4:25 長次郎谷出合にて登攀具、アイゼン装着-5:20 ルンゼ出合にて思案。岩屋のある(次の)ルンゼを1-2峰間とするものと2-3峰間とするものあり悩んでしまう。単独者もいて、よくわからないといいつつルンゼどうしに我々はいやらしかだったので左手ブッシュ帯に取り付く(5:50)。灌木、草つき岩場と続くうちはなんとかあったが上部ハイマツ帯出現とともに地獄のやぶ漕ぎとなる。単独者も我々のルートに追い上げられてくる。一か所灌木のアブリ登攀なんかも駆使したりして8:30 ようやくのこと1峰付近の小ピークに抜け出る。二人ともこの段階でエネルギーのほとんどを使い果たしたわけであるが先はまだまだ長い。水分、糖分補給と降り出してきた小雨対策を行った後、気合いを入れなおし出発。いきなりの懸垂で始まりいよいよ八ツ峰縦走が始まったんだなあという緊張感を味わさせられる。降り立つと正規ルート(?)を登ってきた3人組と合い状況を再確認す。以後、岩稜歩きと次々と現われる懸垂下降とで疲れを忘れさせてくれ13:40に5-6のコルに降り立つ。いわゆる道標は全くなく、ルートファインディング、懸垂のロープ工作、ルート待ち、天候等を総合すると一日で上部に抜けるのは難しいルートなんだと思い知らされ6~8峰の上半は次回の楽しみに残して下山とす。長次郎谷に降り立ち仰ぎ見る1~5峰の連なりは充分格好よく満足のできるもので15:30 テンバ帰着後の水分補給は心と体にしみ渡りました。

8/13 晴れ

AM5:20 下山-ハシゴ谷乗越への登路から振り返り見る1峰を中心とした剣の絶

景が心に残る-6：50 乗越-7：55 内蔵助平-9：20 日電歩道出合。最後のつらい登り返しを経て 10：23 黒四ダム-11：05 扇沢駅帰着